

永野地区

人口	男	533人	女	523人	計	1,056人	世帯数	394世帯
----	---	------	---	------	---	--------	-----	-------

※人口、世帯数は令和4年1月1日時点

《事業概要【分野】と主な支出内容》

① 防犯カメラ設置事業【防犯】

自らの手で地域を守る意識と安心した生活の維持を図る。

防犯カメラ 5 台設置

② コミュニティ公園整備事業【住民交流】

地域のシンボルであるコミュニティ公園の再生を図ることで、地域住民の「自ら行なう」意識の醸成を図る。

既存木の剪定、花壇整備及び芝桜 7,000 ポット植栽、除草管理

③ 永野さくらまつり事業【住民交流】

永野のイメージアップを図り、住民の意識の向上やコミュニケーションづくり等の多くの刺激が地域を元気にして、活力を高める。

イルミネーション一式、テント・机・イスの購入

《収支決算》

【収入(円)】

費目	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
地域の夢補助金	—	—	4,816,314	1,686,105	1,513,553	7,997,972
その他補助金	—	—	0	0	0	0
自己資金	—	—	0	0	0	0
計	—	—	4,816,314	1,686,105	1,513,553	7,997,972

【支出(円)】

事業 No	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
事業①	—	—	2,145,307	1,686,105	187,173	4,000,585
事業②	—	—	2,671,007	0	187,000	2,858,007
事業③	—	—	—	—	1,139,380	1,139,380
計	—	—	4,816,314	1,686,105	1,513,553	7,997,972

《事業への取り組みを振り返って》

【令和元年度】

- ・地域の夢事業で取り組む具体的な事業内容と 3 か年計画が検討委員会、執行部会にて協議、決定された。
- ・地域の安心安全のため、永野地内へ出入口の部分に防犯カメラを 3 台設置すること、永野さくらまつり開催を目的に会場地であるコミュニティ公園の整備をすることが決定された。
- ・当初は、第 1 回さくら祭りの開催を令和 3 年 3 月に計画したが、公園内の樹木の整備、花壇に芝桜の植栽を行った結果、少しでも早くまつり開催を望む声が高まり、令和 2 年 4 月開催を目指した。
- ・台風 19 号の甚大なる被害が粟野地域全域で発生、また、未知の新型コロナの流行により、令和 2 年 4 月の永野さくらまつり中止が検討委員会にて決定された。



花壇整地



10月にシバザクラの苗を植栽



翌春のシバザクラ



まつりの舞台の準備完了

【令和 2 年度】

- ・令和 2 年 4 月のまつり中止が検討委員会にて決定されたが、2 年度内事業として令和 3 年 3 月のまつり開催を目指した。
- ・永野地区内への出入口付近に 3 台の防犯カメラを設置したが、永野地内でも防犯カメラの要望が高まり下永野、上永野地内それぞれ 1 台ずつ設置した。
- ・新型コロナの影響が収まる気配がなく、再度中止の決定をした。



巡査立会いの下、カメラの設置場所を決定



防犯カメラで安心安全確保

【令和 3 年度】

- ・令和 4 年 3 月にまつり開催を計画
- ・コミュニティ公園花壇の芝桜が一部枯れてしまった。赤、紫がほぼ全滅。一方白、ピンクの生育がしっかりしていることから、白とピンクの苗を購入し補植をする。
- ・台風 19 号で崩壊した久保田橋が、令和 4 年 1 月に全面復旧。2 年度に仮橋付近に設置した防犯カメラを新橋で撮影できる箇所に移動する。
- ・新型コロナの影響が収まる気配がなく、再再度中止の決定をした。



1 回目の除草(6月)



2 回目の除草と芝桜の捕植(10月)

【永野地区コミュニティ推進協議会 会長より】

地域の夢実現事業の目的は、地域の活性化と多くの人々が協力して住みよい社会を作り出すことだと思います。

平成 29 年より 5 年間、本事業の目的を達成するため、コミュニティ推進協議会を中心に、検討委員会を立ち上げ、アンケート等を実施し、如何なる事業を取り組むべきか、検討してまいりました。

計画通り実施できた事業もありましたが、台風 19 号や新型コロナの影響があまりに大きく、成すすべもなく、イベント等を変更、中止せざるを得ない状況に、苛立ちを隠しきれませんでした。

今後についてですが、地域の夢事業で立ち上げた検討委員会を解散させないで、永野地区内の総合的なボランティア団体としてそのまま継承できないものかと考えております。

最後になりますが、鹿沼市をはじめ、ご協力いただいた検討委員会、実行委員会の多くの皆様方に改めて御礼を申し上げます。

永野地区コミュニティ推進協議会 会長 荒井勝美

清洲地区

人口	男	1,223人	女	1,231人	計	2,454人	世帯数	874世帯
----	---	--------	---	--------	---	--------	-----	-------

※人口、世帯数は令和4年1月1日時点

《事業概要【分野】と主な支出内容》

① 安心安全なまちづくり事業【安全安心】

防災・防犯や交通安全等の危機管理に対する地域全体の意識を向上するため、啓発活動や連携体制の整備をする。また、様々な危険要素を軽減するため、環境整備や情報交換を行う。

通学路への LED 防犯灯設置(12 基)、防犯カメラ設置(3基)、交通安全啓発看板設置、カーブミラー設置、青色回転灯購入、草刈・支障木伐採等の消耗品購入、毛布・救命胴衣・発電機等
防災資機材購入、久野防災倉庫の嵩上げ工事

② 環境にやさしいまちづくり事業【環境】

花いっぱい運動等の美化活動により癒し景観の創出と地域ぐるみのリサイクル活動や啓発活動を展開し、人と物を大切にする心の醸成と地域に愛着と誇りをもった人材を育む。

資源物保管庫設置、エコバッグ作成、イルミネーション購入、花苗購入

③ 生き生きふれあいサロン事業【保健福祉】

高齢者が気軽に集える範囲に利用しやすいサロンを整備し、孤独感の解消や身体機能の維持・向上を図る。

地区公民館改修(バリアフリー化)、座椅子・テレビ等備品購入、運営に係る消耗品(エプロン、感染対策用品等)購入

《収支決算》

【収入(円)】

費目	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
地域の夢補助金	—	5,500,800	836,689	1,360,000	1,954,229	9,651,718
その他補助金	—	0	0	0	0	0
自己資金	—	0	290,055	290,278	28,030	608,363
計	—	5,500,800	1,126,744	1,650,278	1,982,259	10,260,081

【支出(円)】

事業 No	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
事業①	—	2,147,800	463,772	940,025	1,653,672	5,205,269
事業②	—	765,000	573,935	658,349	275,347	2,272,631
事業③	—	2,588,000	89,037	51,904	53,240	2,782,181
計	—	5,500,800	1,126,744	1,650,278	1,982,259	10,260,081

《事業への取り組みを振り返って》

清洲地区では、平成30年度から令和3年度にかけて、3つの事業に取り組みました。

① 安全安心なまちづくり事業

この事業は、防災・防犯・交通安全対策に取り組むもので、地域の安全安心な環境づくりと住民の意識向上を目的としたものです。

【通学路へ防犯灯新設】

栗野中学校の通学路となっている久野地区の松葉川沿いに、LED ソーラー防犯灯を設置しました。以前は街灯がなく、中学生の下校時には真っ暗になってしまうこともあり危険なエリアでしたが、この事業により通学路を明るく照らすことができました。



啓発看板設置の様子

【啓発看板設置】

地区内の車通りが多い通学路などに交通安全や防犯に関する啓発看板の設置をしました。



啓発看板

【防犯カメラ設置】

地区内の3箇所に防犯カメラを設置しました。

【道路沿い草刈り・支障木伐採】

各自治会単位で、道路や河川敷の草刈りや支障木の伐採、災害ごみの撤去等を行いました。



青パトで子どもたちの見守り

【自主防犯パトロール活動】

青色回転灯を装備した自主防犯パトロール隊を組織し、登下校時などに子どもたちの見守り活動をしています。

【安全対策連絡会議】

以前は各学校単位で行っていた児童・生徒の安全対策連絡会議を、情報共有のために清洲地区全体で行っています。夏・冬の年2回、学校の長期休業前に、消防団や交通安全協会等の清洲地区各種団体と、小学校・中学校が連携し、意見交換の場を設けています。様々な立場の人たちが集まることにより、より活発な意見交換ができるようになりました。

【防災資機材購入・点検】

各自治会(自主防災会)の防災倉庫に、発電機・毛布・救命胴衣等、防災機材を配置し、各自治会において毎年の点検など防災組織づくりを進めています。また、令和元年台風19号で浸水被害を受けた久野防災倉庫について、同規模の災害に耐えられるよう



防災倉庫の嵩上げ

嵩上げ工事を行いました。

当初の計画では、「防災マップの作成」・「避難訓練の実施」を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により事業の実施を見合わせました。令和3年度で地域の夢実現事業は終了しますが、来年度以降の事業で実施できるよう、清洲地区福祉活動推進協議会と連携して計画をしています。

② 環境にやさしいまちづくり事業

地域の環境美化や景観整備、リサイクル運動の推進を図る事業です。

【地域リサイクル運動】

児童・生徒数の減少により各学校単位でのリサイクル運動(資源物回収)が難しくなってきたため、地域全体で協力してリサイクル運動を行いました。(令和2, 3年度は新型コロナウイルスのため合同での運動は中止)

【資源物保管庫の設置】

アルミ缶・新聞紙および段ボールを回収する資源物保管庫を深程交差点前に設置しました。24時間いつでも・人との接触がなく資源物を出せるため、コロナ禍においても積極的に運用を続けています。売却益は、地域リサイクル運動と同様に地域の小学校 PTA に寄付しています。



資源物保管庫の設置

【オリジナルエコバッグ作成】

プラスチックごみの削減・レジ袋の辞退を促進するため、令和元・2年にオリジナルエコバッグを作成し、地域の希望者に頒布しました。エコバッグのデザインは、地域の小中学生から募集しました。



(左)令和元年度 (右)令和2年度
いずれも栗野中学校生徒のデザイン

【花と緑とイルミネーション】

清洲地区コミュニティ推進協議会が以前から取り組んでいる、地域に癒しの景観を創出する環境美化事業です。

春・秋の2回、花壇に花を植栽し、冬季はイルミネーションを設置しています。令和元年台風19号の被害により従来使用していた会場が使用できなくなり、残念ながら令和元年度は中止を余儀なくされました。

しかしながら、令和2年11月、会場を清洲コミュニティセンター周辺に変更し、2年ぶりに事業を再開することができました。新たな花壇の設置にあたっては、地域の企業さんから木材や土を提供いただきました。さらに、花壇の整備やイルミネーションの設営等、みんなで協力して作業を進めました。現在の会場は保育園や福祉施設が近く、地域住民が集いやすい場所です。想定外の会場変更で

はありましたが、より多くの人たちに景観を楽しんでもらえるようになりました。この事業は清洲地区コミュニティ推進協議会の大きな事業のひとつとして、これからも継続していきたいと考えています。



花壇の整備とイルミネーション

③ 生き生きふれあいサロン事業

この事業は、高齢者が地域で心身ともに健康で生きがいをもって、支え合いながら暮らせる地域づくりを推進するものです。

【各地区の公民館改修・ほっとサロン開設】

高齢者が気軽に集える範囲に利用しやすいサロンを整備するため、各地区の公民館の改修(手すり設置・トイレリフォーム等)・備品(テレビ、座椅子等)の整備を行いました。新型コロナウイルスの流行によって集まっての活動が制限されていますが、介護予防運動の資料を配布するなど、自宅でそれぞれができる活動をしています。(写真は平成30年～令和元年度に撮影したものです)



公民館改修(手すり設置)



ほっとサロン開設

《おわりに》

この4年間、災害や新型コロナウイルスで事業計画の大きな見直しをせざるを得ませんでした。令和元年台風19号では地区が大きな被害を受け、当初の事業を行うことが難しくなりました。さらに、令和2年からは新型コロナウイルスの流行。住民同士が交流し、コミュニティ組織活動を推進することがこの清洲地区コミュニティ推進協議会の活動目的であります。コロナ禍において、「人との交流を避けること」が求められるようになりました。人々の生活は一変し、事業を実施する以前の問題として、準備や打合せの会議を開くことも困難な時期もありました。しかしながら、各事業において、地域住民の生活に関連する新たな環境を生み出すことができました。これからも、みんなで協力してこの清洲地区を盛り上げていきたいと思っています。

西大芦・東大芦地区合同

人口	男	女	計	世帯数	世帯
西大芦	312人	368人	680人	西大芦	298世帯
東大芦	1,411人	1,444人	2,855人	東大芦	1,013世帯
計	1,723人	1,812人	3,535人	計	1,311世帯

※人口、世帯数は令和4年1月1日時点

《事業概要【分野】と主な支出内容》

① 大芦川創生事業

・臨時駐車場・トイレ・ごみステーション運営事業【観光】

新たな臨時駐車場の設置・運営

仮設トイレの設置・管理

有料ごみステーションの設置

臨時駐車場・仮設トイレ設置管理運営費

・マナーアップ事業【観光】

観光客に向けた啓発チラシ・指導文書(貼り紙)の作成・配布

河川パトロールの実施

地域外からのボランティアの募集

ビブス購入、防犯カメラ設置

《収支決算》

【収入(円)】

費目	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
地域の夢補助金	—	—	—	—	661,602	661,602
その他補助金	—	—	—	—	0	0
自己資金	—	—	—	—	1,565	1,565
計	—	—	—	—	663,167	663,167

【支出(円)】

事業No	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
事業①	—	—	—	—	663,167	663,167
計	—	—	—	—	663,167	663,167

《事業への取り組みを振り返って》

令和2年、天王橋、宇穴橋から河川への飛び込み事故を未然に防ぐために、鹿沼警察署が中心になり県鹿沼土木事務所、鹿沼市、東大芦・西大芦自治会による、大芦川安全対策会議が発足しました。

市が防護用のネットを張り、飛び込み禁止策を行うも、破かれては修正するイタチごっこでした。川遊び客等が捨てていったゴミや、排泄物が地域のいたるところに散見する始末。収集作業も地域では対応できないレベルにまで至ってしまいました。

路上駐車も増えて、お盆の時には迷惑駐車により、緊急車両が通れない事態になりました。市議員3人が9月議会で課題解決策を訴え、その後市職員による大芦川創生プロジェクトチーム(以下 PT)が発足しました。

今年度はPTと地域住民と共に、啓発活動、ゴミ拾い活動、臨時駐車場と仮設トイレの設置運営、に取り組みました。

有料のゴミステーションについては、皆で協議をした結果、「持ち帰り」に徹することにしました。

本事業は同じ課題を抱える2地区が、目的を一つにそれぞれの地区が地域全体で協力して取り組むきっかけにもなったことは、大きな意義があると思っております

今後も、地域住民の安心した生活の確保と大芦川の清流を守る為、地域課題の解決に向けた取り組みを続けていきたいと思っております。

《東大芦地区コミュニティ推進協議会 寄川良一会長からお礼の言葉》(抜粋)

今年度は、大芦川のごみ投棄や迷惑駐車といった長年の地域課題に対し、大芦川創生プロジェクト事業によりお力添えいただきましたことに重ねてお礼申し上げます。

特に、天王橋の飛び込み防止ネットの設営や、河川パトロールにおいて職員の皆さんが骨身を惜しまずご尽力下さったことに対し、地元の皆さんから感謝とお礼の言葉が多く聞かれました。

また、職員の皆さんとの協働により地域全体が当事者意識を持ち、課題に向き合えたことは、より良い地域の未来を住民自らつくる機運を醸成するうえで、大変重要な経験であったと考えます。

来シーズンは、これらの経験を活かし、課題解決に向けた地域体制を更に強化してまいりたいと思っておりますので、大芦川創生プロジェクトの皆様には今後ともご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

《西大芦地区自治会協議会 矢野隆幸会長からお礼の言葉》(抜粋)

この事業を東大芦地区と共に、地域の課題解決策に取り組むための取り掛かりとして活用させていただき感謝申し上げます。当地区は加速的な人口減少と少子高齢化が進み、大芦川の清掃等、現状維持の事業を行うのが精いっぱいでした。

今年度は、大芦川創生プロジェクトチームの皆さんの多大な協力があり、臨時駐車場と仮設トイレの設置及び管理運営を、地域を挙げて実施できたことに感謝しております。

次年度以降も継続した取組みができる様、ご協力をお願い申し上げます



声かけパトロールを
しながらゴミ拾い



事故防止のため
飛び込み禁止を
呼びかけ



川遊び客等の
ゴミ投棄は
後を絶たず…



路上駐車対策、ゴミ・排泄物対策として臨時駐車場と仮設トイレの設置や
注意看板等の設置、河川パトロールなど、地域と行政が協働して活動

粟野 4 地区合同(粟野、粕尾、永野、清洲)

人口	男	女	計	世帯数	世帯
粟野	1,376 人	1,296 人	2,672 人	粟野	1,023 世帯
粕尾	639 人	609 人	1,248 人	粕尾	490 世帯
永野	533 人	523 人	1,056 人	永野	394 世帯
清洲	1,223 人	1,231 人	2,454 人	清洲	874 世帯
計	3,771 人	3,659 人	7,430 人	世帯数	2,781 世帯

※人口、世帯数は令和 4 年 1 月 1 日時点

《事業概要【分野】と主な支出内容》

① 地域とともにある学校づくり事業【教育・文化】

AWANO^{アワノ}夢咲くART^{アート} FESTIVAL^{フェスティバル}を開催する。粟野4地区において、年2回、粟野中学校、旧粟野中学校、医王寺、常楽寺を会場に美術作品の展覧会を開催する。展覧会中に、作家を交えた鑑賞授業や音楽会を開催する。また、子ども達や一般市民を対象に「私たちの道祖神をつくろう」をテーマにワークショップを行う。

また、会期中に、地元の食材を利用したカレーやイチゴのデザート、ピザ等を提供しレストランを運営する。地域のお店と提携しローズクッキーの開発と販売を行う。さらに、バラ園をつくり管理する。

広報活動として、ホームページを作成して全国への周知を図り、案内マップの制作やケーブルテレビや新聞社等報道機関への取材の依頼をする。

展覧会作家や音楽家への謝礼、作品の搬入搬出費用
 ワorkshop材料、講師の交通費
 レストランの食材費、ローズクッキー開発費、バラ園管理用機材
 案内マップやホームページ制作費、管理費

《収支決算》

【収入(円)】

費目	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
地域の夢補助金	—	1,197,000	1,773,132	1,503,852	3,444,137	7,918,121
その他補助金	—	0	0	0	0	0
自己資金	—	150,000	415,074	94,207	164,810	824,091
計	—	1,347,000	2,188,206	1,598,059	3,608,947	8,742,212

【支出(円)】

事業No	H29	H30	H31/R1	R2	R3	計
事業①	—	1,347,000	2,188,206	1,598,059	3,608,947	8,742,212
計	—	1,347,000	2,188,206	1,598,059	3,608,947	8,742,212

《事業への取り組みを振り返って》

1 AWANO夢咲くART FESUTIVALに至る経緯について

鹿沼市立粟野中学校は、夢実現事業が開始する前から学校公開を行っていた。授業公開と地域の作家の展覧会を実施していた。平成28年に美術展を取り入れ、本物の作品の前で、制作作家と一緒に鑑賞授業の実施、期間中に音楽会や講演会を企画したのが発端となっている。

平成29年に鹿沼市夢実現事業がスタートした。そこで、平成30年4月1日に粟野中学校オープンスクール実行委員会を発足、粟野地域自治会連絡協議会と相談し、その年の10月30日に「花と芸術の街・あわの実行委員会」を発足し、粟野地域全域を活動の場とした。

この年には、展覧会場を粟野中学校と旧粟野中学校の2会場とし、粟野中学校オープンスクールとして、二人展と鑑賞授業、旧粟野中学校では、現代アート展と「私たちの道祖神をつくろう」をテーマにワークショップを開催し、多くの市民が参加した。

春、秋と年2回の開催を目指した。平成31年には、粟野中学校を会場に春フェスを開催した。二人展、バラ園鑑賞、そして、地元の食材を生かしたカレーやイチゴミルクなどの食を提供した。水の広場を舞台に音楽会を開き、隣接のランチルームをレストランとして開放した。準備や運営を実行委員会を中心に地域のボランティア団体や住民と生徒達が行った。

令和元年の秋から、「AWANO夢咲くART FESTIVAL」と名前を変えたが、台風19号による被害を受け中止した。そして、令和2年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した。令和3年の春から、展覧会のみで再開した。そして、秋には、会場を医王寺常楽寺を加えて4会場とした。

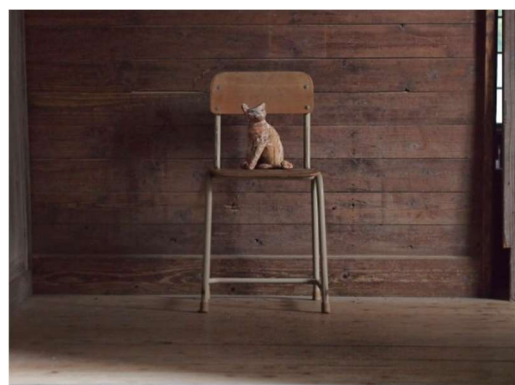


粟野中学校での音楽会

2 展覧会について

令和3年度までの展覧会は、11回を数え、展示作家は44名となる。分野は絵画、彫刻、インスタレーション、写真、書である。鑑賞者は、平均約千人となる。また、年によっては中学校、高校の美術部の展示やワークショップ作家の小作品や参加者の制作した作品を展示した。

展覧会のコンセプトは、現代的な粟野中学校と歴史ある旧粟野中学校のギャップ、レトロな雰囲気と現代アート作品のコラボレーション、伝統と歴史あるお寺と作品が織りなす美を味わうこと、粟野の美しい自然を堪能することを目的としていた。作家は、豊かな感性で作品を展示している。鑑賞者は、日常と異なる何かを感じて鑑賞している。そんな場面や感想に触れる機会が幾度もありました。美術館にはない素晴らしい体験である。



旧粟野中学校の展示作品

3 ワークショップについて

「私たちの道祖神をつくろう」をテーマに市民や地元小学生を対象に継続した。石や木、粘土を素材に思い思いの道祖神をつくり、絵画で表現した。石を彫る体験は、ほとんどの人が初めてであり、夢中になって作品を制作していた。

粕尾地区にある鹿沼市指定の文化財である双体道祖神を粟野地域の文化の象徴として考え、地域の方々、特に子ども達が知るきっかけとなるようなテーマにしている。



道祖神ワークショップ

4 音楽会について

オープニングセレモニーとして、毎回音楽会を開催してきた。旧粟野中学校でオカリナ演奏をしたツルタ・ハルさんは、旧校舎の雰囲気が好きになり「届け、私の歌」という曲を作ってしまったというエピソードもある。また、舞踊家の山田哲也さんは、彫刻作品の会場で即興で作品とコラボレーションした創作舞踊を披露した。



オープニングセレモニーの音楽会

5 鑑賞授業について

粟野中学校での展覧会では、必ず作家を交えて24回の公開鑑賞授業を行った。作品を制作した作家に直に聞くことができ、作品の本質に迫ることができた。作家の生き方や作品への思いや表現に対するこだわりなど、生徒達は食い入るように話を聞いていた。豊かな感性を培う大切な時間となった。



粟野中学校での鑑賞授業

6 バラ園の管理について

粟野中学校に80本のバラを植えバラ園をつくり管理している。バラ育成管理ボランティアを組織し、定期的な選定や消毒、除草を行っている。地域のボランティアの協力があって維持されてきた。美しいバラが咲く時期に合わせて展覧会を実施してきた。



粟野中学校のバラ園

7 関連事業について

(1) ローズクッキーの制作について

地元の洋菓子店との連携によって、粟野中学校のバラ園から発想を得て、ローズクッキーの開発と販売ができた。フェスティバル期間中や地域の方が集まる時に販売している。袋に貼るシールと箱に巻く帯のデザインを粟野中学校生徒が行った。地元や来客に定着しつつある。



手作りラベルのローズクッキー

(2) 粟野地域キャラクターの制作について

地域に募集をして粟野地域キャラクターを制作した。つつじの湯のイメージから「つつじの湯太郎」と「つつゆちゃん」が誕生した。ポスターやチラシ、パンフレット等に使用している。

8 成果と課題について

(1) 成果

地域とともにある学校づくりを事業テーマとして継続してきた活動を通して、多くの成果を確認することができる。少子化、高齢化が進行している時代だからこそ、故郷の良さや地域住民の協力、人の繋がりが心豊かな生活の土台となり、地域文化を高め人生を楽しくしていくために必要な事であることを認識することができる。



メイン会場の旧粟野中学校

美しい風景や魅力ある建物に芸術が加わることで、更なる魅力を発揮することが可能となることを実感した。

実行委員会の立ち上げから、現在まで一貫して協力を惜しまない実行委員の皆様とボランティアの方々がいる事が最大の成果である。

AWANO夢咲くART FESTIVALは全国に発信されている。かかわりたい人は、確実に増えている。作家の繋がりは、放射状に広がっている。粟野地域に移住したいと考える若者達がいる事も事実である。

(2) 課題

地域の魅力を見だし、地域の活性化に興味関心を持ち、故郷を大切に、誇りを持って生活しようとする人材を増やす事が大切と考える。

学校教育において、体験活動や交流活動、地域学習やキャリア教育、芸術活動などに地域が関わる事が必要ではないでしょうか。



目指す方向に向かって

地域の夢実現事業実施状況(平成29～令和3年度補助金交付金額一覧)

○第2階層

No.	地区名	事業名	補助金交付金額					H29～R3 合計
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
1	中央	① 新規防犯灯設置事業	—	1,393,480	0	0	0	1,393,480
		② 岩山ハイキングコース整備事業	—	—	—	3,990,580	1,576,665	5,567,245
		③ 中央地区支え合い事業	—	—	—	212,310	0	212,310
		④ 安全で安心する地域づくり事業	—	—	—	2,662,000	0	2,662,000
	中央(4事業)			0	1,393,480	0	6,864,890	1,576,665
2	東部	① 安全で安心なまちづくり事業	—	—	1,524,880	616,073	0	2,140,953
	東部(1事業)			0	0	1,524,880	616,073	0
3	北部	① 健康で生き生き暮らす地域づくり事業	—	—	—	2,830,300	0	2,830,300
		② 安全で安心する地域づくり事業	—	—	—	1,243,440	0	1,243,440
	北部(2事業)			0	0	0	4,073,740	2,530,520
4	板荷	① 野生鳥獣被害防護柵設置事業	—	—	3,376,743	3,603,975	902,000	7,882,718
		② 農業を活用した地域づくり事業	—	—	135,000	50,130	1,174,000	1,359,130
		③ がっこ山100年の森づくり事業	—	—	117,257	415,895	684,000	1,217,152
	板荷(3事業)			0	0	3,629,000	4,070,000	2,760,000
5	西大芦	① 宅配弁当及び農村食堂運営事業	—	789,438	928,374	1,048,125	781,055	3,546,992
		② 大芦川流域活用事業	600,000	949,680	766,374	934,055	590,345	3,840,454
		③ 西大芦農産物市事業	—	—	33,031	449,427	2,288,830	2,771,288
	西大芦(3事業)			600,000	1,739,118	1,727,779	2,431,607	3,660,230
6	加蘇	① 防犯カメラ設置事業	—	3,871,800	54,927	51,966	53,828	4,032,521
		② 加蘇地区観光PR事業	—	3,035,880	120,868	54,540	41,783	3,253,071
			—	487,405	343,440	62,112	23,501	916,458
加蘇(2事業)			0	7,395,085	519,235	168,618	119,112	8,202,050
7	北犬飼	① 安全安心なまちづくり事業	—	—	1,039,350	1,707,500	2,200,000	4,946,850
		② 地域交流活動支援事業	—	—	—	1,830,000	0	1,830,000
		③ 学校と地域の交流活動応援事業	—	—	—	950,000	250,000	1,200,000
		④ 地域助け合い事業	—	—	—	—	450,000	450,000
		⑤ 地域資源活用事業	—	—	—	—	1,874,760	1,874,760
	北犬飼(5事業)			0	0	1,039,350	4,487,500	4,774,760
8	南摩	① 高齢者住環境美化支援事業	—	1,912,500	1,490,482	733,239	589,955	4,726,176
		② なんま野菜の給食プロジェクト	—	622,500	235,620	359,924	82,216	1,300,260
		③ なんまん商標登録事業	—	139,900	4,733	141,404	0	286,037
		④ なんまんお祭りプロジェクト	—	827,100	586,321	1,695,045	2,043,974	5,152,440
南摩(4事業)			0	3,502,000	2,317,156	2,929,612	2,716,145	11,464,913
9	南押原	① 友遊館事業	5,184,000	3,086,000	1,521,000	2,174,728	858,139	12,823,867
		② ふるさと祭り事業	620,000	—	—	—	0	620,000
	南押原(2事業)			5,804,000	3,086,000	1,521,000	2,174,728	858,139
10	東大芦	① 文化観光交流事業	—	117,614	50,000	25,000	370,000	562,614
		② こども育成交流事業	—	312,457	144,598	147,558	134,946	739,559
		③ 交流拠点確立事業	—	—	4,290,880	2,952,510	0	7,243,390
	東大芦(3事業)			0	430,071	4,485,478	3,125,068	504,946

No.	地区名	事業名	補助金交付金額					H29～R3 合計
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
11	菊 沢	① 新規防犯灯整備事業	250,000	250,000	225,000	225,000	0	950,000
		② 桜のふるさと事業	500,000	171,863	200,000	68,274	65,289	1,005,426
		③ 文化伝承事業	500,000	50,000	0	23,242	0	573,242
		④ 千渡コミュニティ 体制整備事業	124,640	499,700	415,700	1,173,020	216,500	2,429,560
		⑤ 糠塚山ふるさと 公園整備事業	—	—	1,000,000	1,500,000	0	2,500,000
		⑥ 地域のための 防災啓発事業	—	—	—	837,860	997,868	1,835,728
	菊沢(6事業)			1,374,640	971,563	1,840,700	3,827,396	1,279,657
12	北 押 原	① 北押原フレンド フェスタ事業	933,677	0	0	0	0	933,677
		② ふれあい広場 ドリーム事業	—	707,059	60,000	0	0	767,059
		③ 奈佐原文楽 稽古場改修事業	—	—	—	7,972,640	504,620	8,477,260
	北押原(3事業)			933,677	707,059	60,000	7,972,640	504,620
13	東 部 台	① 南大通りにぎわい 促進事業	—	8,855,000	—	—	0	8,855,000
		② ふれあい公園 多目的化整備事業	—	2,166,000	—	—	0	2,166,000
	東部台(2事業)			0	11,021,000	0	0	0
14	粟 野	① 安全安心な まちづくり事業	—	300,000	2,157,500	126,000	0	2,583,500
		② 高齢者支援対策事業	—	—	423,814	42,433	88,287	554,534
		③ つつじの里活性化事業	—	—	2,570,470	5,708,181	199,600	8,478,251
	粟野(3事業)			0	300,000	5,151,784	5,876,614	287,887
15	粕 尾	① 地域世代間交流事業	—	220,080	291,000	0	0	511,080
		② 次世代育成支援 地域間交流事業	484,000	268,920	32,000	45,000	0	829,920
		③ 防犯・防災 対策推進事業	1,432,000	37,800	3,146,000	2,659,000	888,000	8,162,800
		④ 野生鳥獣対策事業	—	97,200	221,000	1,854,000	106,000	2,278,200
	粕尾(4事業)			1,916,000	624,000	3,690,000	4,558,000	994,000
16	永 野	① 防犯カメラ設置事業	—	—	2,145,307	1,668,105	187,173	4,000,585
		② コミュニティ公園 整備事業	—	—	2,671,007	—	187,000	2,858,007
		③ 永野さくらまつり 事業	—	—	—	0	1,139,380	1,139,380
	永野(3事業)			0	0	4,816,314	1,668,105	1,513,553
17	清 洲	① 安全安心な まちづくり事業	—	2,147,800	463,772	940,000	1,653,672	5,205,244
		② 環境にやさしい まちづくり事業	—	765,000	283,880	370,000	250,557	1,669,437
		③ 生き生きふれあい サロン事業	—	2,588,000	89,037	50,000	50,000	2,777,037
	清洲(3事業)			0	5,500,800	836,689	1,360,000	1,954,229
第2階層合計			10,628,317	36,670,176	33,159,365	56,204,591	26,034,463	162,696,912

○第3階層

No.	地区名	事業名	補助金交付金額					H29～R3 合計
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
1	西大芦 東大芦	① 大芦川創生事業	—	—	—	—	661,602	661,602
2	粟野4地 区合同	① 地域とともにある 学校づくり事業	—	1,197,000	1,773,132	1,503,852	3,444,137	7,918,121
第3階層 合計			0	1,197,000	1,773,132	1,503,852	4,105,739	8,579,723

○第2・第3階層合計

	補助金交付金額					H29～R3 合計
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
第2・第3階層合計	10,628,317	37,867,176	34,932,497	57,708,443	30,140,202	171,276,635
第2階層	5地区10事業	12地区29事業	16地区41事業	16地区44事業	15地区37事業	17地区53事業
第3階層	—	1地域1事業	1地域1事業	1地域1事業	2地域2事業	2地域2事業

～地域の夢実現事業実施マニュアル～

1 事業の目的

住民の主体的な取り組みを支援する仕組みです！

それぞれの地域で、課題解決や地域の活性化につながる活動を、地域住民が自主的に取り組む事業を、人的、財政的に支援する仕組みです。

2 補助事業の仕組み

【 あなたの暮らす地区 】

【 他地区 】

第1階層 全地区で取り組む事業（現在7事業）

安全安心

- ・防犯灯維持管理事業
- ・まち灯り維持管理事業
- ・LED防犯灯設置事業
- ・自主防犯団体活動事業

福祉

- ・敬老事業
- ・みまもり隊活動事業

環境

- ・地域環境ネットワーク事業

第1階層

第2階層 地域の提案事業

地域の課題解決や活性化につながる事業
※住民の自由な発想で提案され、地区の合意を得たものを対象

第2階層

第3階層 複数地域の提案事業

- ・複数の地域が連携し協働で実施する事業
- ・地域の環境保全や防災、住民の福祉の向上等に資するサービス等を複数の地域に提供する事業

3 自由な発想で事業に取り組めます。（第2階層、第3階層事業）

防犯、防災

高齢者対策
子育て対策

ゴミ問題
雑草対策

景観を良く
したい

人が集まる
地域にした

(-_-) 不審者がいた
(`´) パトロールしようか
子どもの通学やお年寄り
のお宅が心配だし
(`´) 防犯組織を作ろうよ
(^o^) 地区内全体の組織に
してもいいのでは？

(-_-) 通学路を草が覆ってる
(`´) 地域で草刈しようか
(^o^) 草刈り隊を作ろうか？
(-_-) 道具がないよ、草刈機とか
(`´) 「地域の何とか事業」で、
できるのでは？
提案してみない？

!(^^)! 遊歩道があるといいね
(^o^) 花も植えて作ろうよ
看板あってもいいよね
!(^^)! 景観づくりと健康づくり
を一緒にやろう
(^o^) いいね。企画しようか

4 「第2階層事業」の進め方のポイント

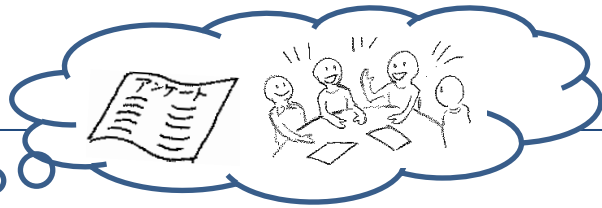
(1) 地域の課題や魅力について、地域みんなのアイデアを出そう！

この事業を進めていただくうえで、次の点が重要となります。

ポイント

- ① 地域の取り組みについて、多くの方に知っていただくこと。
- ② ふだん感じているちょっとした課題や、「こんな地域にしたい」といった意見を集約すること。
- ③ 地域で取り組む活動を話し合いにより決定し、その内容を地域の皆さんが知っていること。

(2) 意見の集め方は？



具体的な意見の集め方・・・

○地域住民へのアンケートの実施

- ・日頃あまり地域に出ない人や会議に来られない人の意見を取り入れられます。

○アイデア会議の実施

- ・役員だけでは気づかない、新しい視点が生まれます。

○自治会や地域団体に意見を集約する。

- ・地域の細かな問題を話し合うことにより、共通の課題や意外なアイデアとして集約することができます。

地域では、こんな話し合いをしてください。(イメージ)



自分の地域をどのような地域にしていきたいかを話し合い、住民の皆さんの共通目標として、実現に向けた中長期的な計画を立案してください。

5 「第2階層事業」「第3階層事業」で取り組める事業のイメージ

(1) どんなことができるの？

地域の課題解決となるような事業

○高齢者が買い物に困っている…

- ☆買い物困難者を支援するため、バスでの買い物ツアーを実施
- ☆高齢者配食サービス実施
- ☆高齢者の買い出しゴミ出し支援実施

○防犯、防災機能が弱まってきている…

- ☆地域内の防犯、防災活動組織の統一

○空き家の処理に困っている…

- ☆田舎暮らし体験施設として改修整備し移住希望者に貸し出す。
- ☆石蔵を改修シカフェと住民交流スペースを併設した

○災害時の地域の体制が整っていない…

- ☆年に一度の防災訓練や防災イベントを開催
- ☆防災マップの作成配布、災害時の連絡網の整備

○ごみの不法投棄が多い

- ☆ポイ捨て禁止の啓発看板設置

○廃校問題

- ☆廃校を活用したレストラン開設や、子どもから大人まで楽しめるトライアスロンを開催する

○地域に公園があるが管理がされず景観が悪い

- ☆公園の草刈りを地域住民で行い、お祭りやイベント会場として利用

ポイント

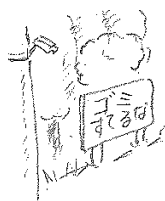
地域の魅力を活かすような事業

○地元の特産品を活かす

- ☆大豆の栽培から味噌づくりまでを、都市住民に体験してもらい普及を図る。
- ☆いちごを使った新しいスイーツを開発し、地元の名物として販売する
- ☆野菜直売所と住民交流スペースの創設

○新たな観光資源をつくる

- ☆あじさいを植栽し散策路として整備。
- ☆ホテル水路、ピオトープを整備し、観賞会などに利用
- ☆里山、水辺の管理、案内板設置
- ☆地元の名所旧跡や商店、自然などを紹介する散策マップを作成し、スタンプラリーを実施
- ☆遊歩道・散策道整備や案内板設置



(2) 補助対象外となる経費は？

- ①政治的、宗教的な活動や団体への補助、補助の目的を超えた特定の個人や団体の利益となる事業は補助対象外となります。
- ②人件費、その他補助金を交付する事で自主性及び独立採算性を妨げる経費

(3) 費用はいくらかかる？

- ①中長期的な計画全体でどのくらいの費用がかかるのかを積算します。
- ②その年度に実施する事業でどのくらいの費用がかかるのかを積算します。
- ③市の予算は1地区5年の事業期間で1,000万円程度を上限の目安としています。



そして、【地域のチカラ協働事業】へ…

